

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23045	
事業名	ミニ児童会館等運営管理費						
評価担当課	所属名	子)子ども育成 子ども企画課					
	課長名	本間 方毅	担当者名	丸箸 なつみ	電話番号	011-211-2989	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費						
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理						
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他					
	目的	短期	安全・安心な放課後の居場所の確保を目的とする。				
		長期	児童の健全育成及び子育てと仕事の両立支援を図ることを目的とする。				
	取組内容	児童会館の補完施設として、児童の健全育成及び子育てと仕事の両立支援を図る。また、桑園児童会館の過密化解消のため、桑園小学校近隣のテナントを借用して児童クラブを実施する。					
	実施結果	ミニ児童会館90館及び桑園放課後子ども対策事業1か所を運営。					
事業実施における工夫点	児童会館指定管理者と同じ団体に運営を委託することで、児童会館を含めた一体的な管理運営によるスケールメリットを生み出している。						
対象者	小学生とその保護者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、児童福祉法施行令、札幌市ミニ児童会館事業実施要綱、札幌市児童クラブ実施要綱						
他都市の状況	国が、「放課後子ども総合プラン」により、小学校の余裕教室等を活用した放課後児童クラブの設置を促進している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	1,993,394	2,093,224	2,053,150	2,163,187
うち特定財源	875,907	910,840	848,354	955,951
人工	1.5	0.0	0.5	0.5
人件費	10,800	0	3,600	3,600
計(事業費+人件費)	2,004,194	2,093,224	2,056,750	2,166,787
事業費の内訳	令和3年度決算	委託料 2,041,350千円 その他 11,800千円		
	令和4年度予算	委託料 2,148,184千円 その他 15,003千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	ミニ児童会館利用者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1,017,317	970,000	1,095,082	1,116,000	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	ミニ児利用者の総合満足度			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	84.60%	80.00%	86.90%	87.00%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	放課後の児童の安全・安心な居場所として必要な事業となっている。 また、児童会館との連携を図るなど、各種の取組を通じて、異年齢交流や地域との関係づくりが促進されている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	施設規模や職員数については、登録児童数に応じた国基準をベースに運営している。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	児童会館指定管理者と同じ団体に運営委託することで、児童会館を含めた一体的な管理運営によるスケールメリットを生み出している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	利用者を対象に実施したアンケート調査では、総合満足度80%以上となっており、目標水準を超えている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	登録児童数の増加によって、児童クラブが狭隘している館があるため、解消に向けて取り組む必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	利用者ニーズを反映したサービス水準の向上を図り、事業目的達成に向け、最小の経費で最大の効果をあげるよう取り組んでいる。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 ミニ児童会館運営を継続			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 児童クラブ登録児童数及び障がい児の増に伴う児童会館への配置職員数(人件費)の増。		見直し効果額	0 千円